

(別紙4(2))

事業所名: グループホームサンハイツ青山

目標達成計画

作成日: 令和 3年 1月 4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	備蓄品は、法人本部に保管しているが、備蓄内容の確認が出来ていない。備蓄内容を把握していなければ、有事の際の入居者様の安全が確保できない可能性が生じる。	管理者とユニットリーダーで、備蓄品の把握を行い、有事の際にすぐに活用できる体制を整備し、ご利用者様の安全・安心を確保する。	・管理者・ユニットリーダーで、本部へ備蓄内容の確認を行い、実際に、何日分の食料や水が確保できるかを確認する。 ・備蓄内容については、備蓄品一覧表を作成し、全職員が備蓄品を把握し、慌てず対応できる体制を整える。	6 ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。